

遺言書

遺言者 齋藤道三 は、この遺言書で次のとおり遺言する。

一、 娘婿 織田上総介 に遺贈させる財産

美濃については織田上総介の存分にまかすべく

一、 次男 孫四郎 及び 喜平次 に相続させる財産ことば

一子出家すれば九族昇天す。

付言事項

齋藤山城、いたって法花妙諦のうち、生老病死の苦をば
修羅場にて仏果をうる。

うれしいかな。

すでに明日一戦におよび、五体不具の成仏、うたがいあるべからず。
げにや捨てたる この世のはかなきものを
いづくか露のすみかなりけん。

弘治二年四月一九日

美濃 南泉寺にて

齋藤山城入道道三

印

※

引用に用いた文献

国盗り物語 司馬遼太郎 新潮文庫